



MIRAI
REHABILITATION
HOSPITAL

みらいを創る・みらいに繋ぐ広報誌

MIRA★REHA

No.5



新病院長就任のごあいさつ

特集

診療放射線科「80列CT・1.5T MRI」稼働中

地域貢献活動

保育士向け「感染対策講座」／八幡校区公民館で「転倒予防講座」と「栄養講座」
高校生のボランティア活動&職場体験／小学生親子病院たんけんツアー
中学生リハ体験・見学／中学生看護体験・見学／高校生ふれあい看護体験

新人看護職員の研修修了／入職2年目セラピストによる症例検討会／新入職医師紹介
リレー職員紹介／リハ★飯／回復期リハ病棟実績データ／アクセス

表紙画像：生成AIにより作成



みらいリハビリテーション病院

MIRAI REHABILITATION HOSPITAL

平日月曜日から金曜日と土曜日も診療しています。9:00～12:30/14:00～17:30



新病院長就任の挨拶

2026年7月1日付で、みらいリハビリテーション病院院長に就任いたしました。これまで大学病院で脳神経内科医として数多くの患者様の診療に携わってまいりました。私の専門は免疫性神経疾患です。ちょっと難しそうに聞こえますが、患者様の症状は「視力が落ちた」「まぶたが下がる」「声が出にくい」「顔がゆがむ」「物が二つに見える」「足が突っ張る」「しびれが強い」「力が出ない」など、重篤な病状というよりも、むしろどの科に行ったらいいかわかりにくい症状のことも多いのが特徴です。当院では即日MRIやCTなどの検査が可能ですので、そのような疾患だけでなく、もの忘れや頭痛、脳卒中、手足のふるえやしびれなど幅広い脳神経疾患の診療に対応しています。

「みらいリハビリテーション病院」という名前から、「リハビリの病院で、通常の外来は行っていないのでは」と思われる方もいらっしゃるようですが、当院では一般内科外来から入院診療まで対応しており、消化器疾患や循環器疾患などの専門診療も行っています。鹿児島市の中心部という立地を生かし、地域の皆様が気軽に立ち寄り、安心して受診できる病院であることも当院の大切な役割です。また、病棟では質の高い医療とリハビリテーションを提供し、一人ひとりの患者様の生活を支える医療を実践しています。

私は、患者様が安心して受診・入院でき、ご家族にも信頼される病院づくりに力を注ぐとともに、ここで働く職員一人ひとりが笑顔とやりがいを持って働ける環境を築いていきたいと考えています。職員の笑顔こそが患者様に安心と元気を届ける原動力であると信じているからです。地域の皆様に「困ったときは、みらいリハビリテーション病院に話をきいてもらおう」と思っていただけの病院を目指し、職員一同、より良い医療の提供に努めてまいります。

みらいリハビリテーション病院 院長 松浦 英治



崎山 勉

近畿大・近畿大大学院医学研究科卒、日本内科学会内科認定医・総合内科専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本医師会認定産業医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、医学博士

消化器疾患を中心に、内科全般からがん治療まで幅広く診療して参りました。総合内科専門医として全身を診る視点を大切にし、消化器病・内視鏡・肝臓・がん薬物療法の各専門性を活かして、患者様1人ひとりに最適な医療を提供できるよう努めています。胃・大腸内視鏡検査では、安心して検査を受けていただける丁寧な説明と苦痛の少ない診療を心掛けています。地域の皆さまに信頼され、気軽に相談していただけるような医師を目指し、日々の診療に努めてまいります。



前畠 良智

徳島大卒、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化管学会胃腸科専門医、医学博士

これまで内視鏡検査・治療を中心に診療に携わってまいりました。今後は、複数の慢性疾患を抱えるご高齢な患者様の医療について理解を深め、より良い診療を提供できるよう努めてまいります。内科的管理を通じて、患者様が安心して療養生活を送り、円滑に社会復帰できるよう支援してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

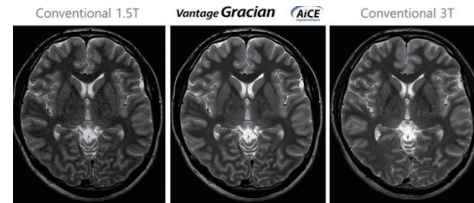
診療放射線科 「80列CT・1.5T MRI」稼働中です

当院では、80列MDCT(Aquilion Lightning：キャノンメディカルシステムズ社)が稼働しております。また、MRIについては2025年4月より1.5T MRI(Vantage Gracian：キャノンメディカルシステムズ社)を導入しております。

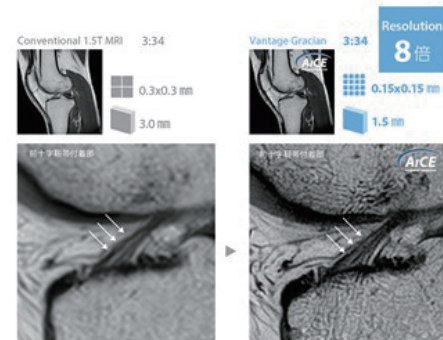
今回は主に1.5T MRI：Vantage Gracianについてご紹介いたします。



SNRの飛躍的な向上で1.5Tのポテンシャルを拡大Deep Learningを用いて設計されたSNR向上技術「AiCE」によって、高画質の鍵となるSNRを向上。高いSNRが得られる性能を発揮し、日常検査において高分解能の画像診断が可能です。



↑高磁場装置(3T)へ迫る高分解能画像

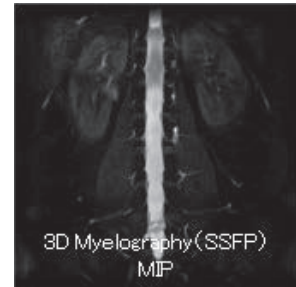


↑AiCEとはDeep Learningを利用したノイズ除去手法です。期待できる効果として、高空間分解能撮像や検査の短時間化が可能となります

地域医療機関の皆様へ

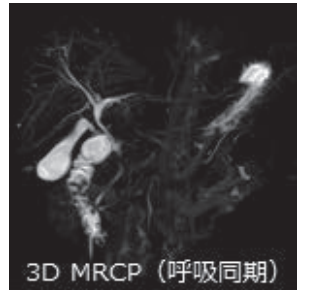
当院ではCT・MRIなど幅広い画像検査に対応でき、診断や治療方針に寄与できる体制を整えております。画像処理については、ワークステーション(Abierto Vision)にて3D再構成などスムーズな処理が可能となっております。CT・MRIの読影については、遠隔読影システムを導入しており、担当医・専門医のダブルチェックを行っております。画像検査は待ち時間も少なくスムーズな対応を心がけております。何なりとご用命いただければ幸いです。

特殊撮影(非造影検査)： Myelo、MRCP、DWIBS

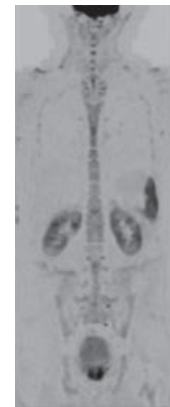


←MR Myelography：脳脊髄液を強調し、脊髄や神経根を立体的に描出します

MRCP：胆嚢、胆管、膵管を画像化する検査→



←DWIBS：頸部～骨盤部の癌スクリーニング検査



↑80-rowMDCT Aquilion Lightning：キャノンメディカルシステムズ

80列の高分解能を低被ばくで実現。被ばく低減技術AIDR 3D Enhanced、金属アーチファクト低減処理SEMARなど低侵襲・高画質な画像を提供しております。

看護部

2025年度 新人看護職員研修修了 ～新人ナース4名が1年目を修了 2年目ナースとして新たな一歩へ～

2025年度に入職した新人ナース4名が、無事に1年目を修了し、2年目ナースとして新たな一歩を踏み出しました。3月末には修了式を行い、看護部長より修了証と1年間の振り返りアルバム、「ナースのお守り手帳」が贈られ、先輩ナースとともに成長を祝いました。

当院では看護部理念「生命の尊さ、人間性を尊重した心の通い合う信頼される看護の提供」を基盤に、新人看護職員研修ガイドラインに則った新人教育プログラムに沿って計画的な育成を行っています。

1年目の目標である「**基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得ながら看護実践ができること**」を目指し、OJT・OFF-JT、eラーニング、グループワークなど多様な学習を取り入れ、プリセプターの支援のもと、着実に力をつけてきました。

2年目を迎える彼らが、患者様とご家族様に寄り添い、信頼される看護師へ成長できるよう、今後も看護部全体で支えてまいります。



修了式で贈られた修了証と
アルバム、お守り手帳



ルート確保演習をする新人看護師

地域貢献活動

保育士向け「感染対策出前講座」を開催



手袋の正しい着脱方法を実践

地域貢献活動の一環として、近隣の保育施設からご要望をいただいた際に、感染対策に関する出前講座を開催しています。

今回は、荒田一丁目の企業主導型保育園「CRAYON KIDS」様にて、「子どもたちも、先生も守るために～現場で役立つ嘔吐物処理の基本と感染予防～」をテーマに講座を開催しました。

講師は、当院感染対策室の感染制御実践看護師である福島師長が務めました。

講座では、手洗いの重要性やオムツ交換時の感染対策、嘔吐物処理の基本的な手順、避けるべき対応などについて、実際の現場を想定しながら分かりやすく解説しました。

参加された保育士の皆様からは、「外出時のバス車内で嘔吐があった場合の対応は?」「除菌とはどのような意味なのか?」など、多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

最後に、感染リスクを減らすための「手袋の正しい外し方」の実技を行い、日々の保育現場で活用できる実践的な知識と技術を学んでいただきました。

当院では今後も地域の皆様の健康と安全を支えるため、さまざまな地域貢献活動に取り組んでまいります。

感染制御実践看護師とは?

感染制御実践看護師とは、病院内で感染症の予防や拡大防止に取り組む、感染対策の専門知識を持った看護師です

リハビリテーション部

入職2年目セラピストの学びの場 ～症例検討会の取り組み～

リハビリテーション部では、4月から9月にかけて、入職2年目のセラピストによる院内症例検討会を随時開催しています。

今年度は、理学療法士(PT)10名、作業療法士(OT)5名、言語聴覚士(ST)2名の計17名が発表を行います。

症例報告は、「専門性と臨床推論力の向上」、「チーム医療の質の向上」「理論的視点の醸成」を目的としています。患者様へのアプローチやリハビリ内容を振り返りながら根拠を整理し、じっくりと考察を深めることができる貴重な機会となっています。

また、先輩セラピストからの質問や助言を通して、新たな視点や今後のリハビリに活かせる多くの学びを得ています。



発表者の新人にインタビュー!

Q. 今回の症例発表について教えてください。

A. 上肢機能に着目したアプローチによって、機能改善がみられた症例について発表しました。

Q. 発表を終えてどう感じましたか?

A. 「なぜ短期間で上肢機能が向上したのか」など、多くの質問をいただきました。今後は患者様への介入中にも気づきを得られるよう、さらに知識を深めていきたいと思います。

Q. 今後挑戦したいことはありますか?

A. 院外での学会発表にも挑戦したいです。まずは今回の発表で得た学びを日々の臨床に活かしていきたいです。

「転倒予防講座」開催

八幡校区振興会公民館



八幡校区振興会公民会で、当院リハビリテーション部による「転倒予防講座」を開催しました。天寿会の皆様25名にご参加いただき、当院からはセラピスト7名がお伺いしました。

講師を務めたリハビリテーション部の田中医長は、転倒と健康の関係や、自宅でも実践できる転倒予防のポイントについて、分かりやすくお話ししました。途中では、参加者の皆様と一緒に転倒予防のための運動にもチャレンジ!

会場は終始和やかな雰囲気、参加者の皆様は無理のない範囲で運動に取り組んでいただきました。

中学生 リハビリテーション体験・見学を実施



「夏休み中学生リハビリテーション体験・見学」を開催、中学生5名が参加しました。

リハビリテーション部からセラピストの仕事について説明を受けた後、歩行支援ロボットなどのリハビリテーション機器を体験。また、片麻痺体験スーツを着用して、片側の手足が動かしにくい状態を体験する「麻痺疑似体験」にも挑戦しました。院内見学もしました。

「体が思うように動かない大変さが分かった」「病院の仕組みが分かり楽しかった」などの感想が聞かれました。

初開催！39名の高校生が「ボランティア活動＆職場体験」に参加



高校生を対象とした「ボランティア活動＆職場体験」を実施しました。初の試みにもかかわらず、県内の高校1、2年生39名にご参加いただき、大盛況なイベントとなりました。

ボランティア活動では、看護部・リハビリテーション部・事務部に分かれ、車いす清掃や患者様の見守り、簡単な事務作業をしていただきました。

また、2種目選択の職業体験では、医師・看護師・セラピスト・薬剤師といった医療職に加え、SEや保育士など12職種を体験していただきました。

アンケートでは、「将来の職業選択に必要なことが学べた」「たくさんの知識や勉強が必要だと感じた」「実際に話を聞いたり、見学ができてとても良い経験になった」などの声が寄せられました。

中学生 看護体験・見学を実施



「夏休み中学生看護体験・見学」を開催、中学生3名が参加しました。

7F病棟では、参加者一人ひとりに、若手の看護師が担当として付き、患者様のケアを見学したり、看護師に質問をしたりしながら、看護師の仕事について学びました。

参加者からは、「看護師さんに一对一で教えてもらって分かりやすかった」「医療職に就きたいと思った」などの感想をいただきました。

高校生 ふれあい看護体験 開催



鹿児島県看護協会事業「ふれあい看護体験」を開催いたしました。参加した7名の高校生は、当院看護師のユニフォームに着替えて体験しました。

移乗ボードを使用したベッドからストレッチャーへの移乗体験や、手指消毒・手洗いチェックを実施。防護服の着脱体験にも挑戦しました。高校生は、スタッフの説明を聞きながら丁寧に取り組んでいました。

「栄養講座」開催 八幡校区振興会公民館



八幡校区振興会公民会で、栄養科による「夏を乗り切る栄養学！フレイルを防ぐ『お肉』の力と正しく備える脱水対策」を開催しました。第2回福祉委員会の学習会として実施し、約20名の方にご参加いただきました。

日常生活の中でたんぱく質を取り入れやすい工夫を紹介しました。また、「隠れ脱水危険度チェック表」を使って、参加者の皆さんが自身の脱水リスクをチェックしていただきました。

小学生親子病院たんけんツアー開催



「夏休み親子病院たんけんツアー」を開催、小学生親子3組8名にご参加いただきました。

病院たんけんでは、院内11か所をめぐるシールラリーに挑戦。普段は入れない薬局や栄養科、放射線室などを見学しました。医療のおしごと体験では、歩行支援ロボットや足こぎ車いすを体験したり、注射器で色水を吸う体験などをしました。

最後に中村理事が「みらい医療スタッフ認定証」をお渡ししました。

今回ご紹介するのはこの3人



リハビリテーション部
作業療法士
白谷 汐音 さん

人の役に立つ仕事をしたいという思いがあり、作業療法士を選びました。患者様から感謝の気持ちを伝えられた時にやりがいを感じます。趣味は職場の仲間とバドミントンやフットサル、筋トレやゲーム大会を行うことです。みんなで楽しく体を動かすことで、交流を深めながらリフレッシュしています。

次は、安心感を届ける看護師・大江さんです



病棟
看護師
大江 磨奈 さん

毎日、患者様と関わる中で、笑顔で一人ひとりに寄り添う看護を大切にしています。患者様やご家族様が、入院中も退院後も安心して過ごせるよう、チーム医療で支えています。趣味はゲームや音楽鑑賞です。時を忘れてリフレッシュできています。

次は、いつも笑顔で丁寧な対応・森元さんです。



事務部
医事課
森元ありさ さん

病院の窓口として、患者様やご家族様と関わる機会が多いため、病院に対して安心感、信頼感を持っていただけるよう努めています。様々な部署との関わりも多く、コミュニケーションを積極的にとることも大切にしています。お気に入りの店は、東開町にある「麦のはな」といううどん屋さん。何を食べてもおいしいです。

栄養科

豚バラ肉と秋なすのさっぱり重ね蒸し

夏の疲れをリセット！ビタミンB1たっぷりのスタミナおかず



管理栄養士の「リハ栄養メモ」

豚肉に豊富なビタミンB1は、糖質をエネルギーに変え、夏の蓄積疲労を解消してくれます。秋なすのカリウムは体にこもった熱を逃がし、酸味のある味付けが食欲を増進。残暑を元気に乗り切るための一品です。

◇作り方(所要時間：約10分)◇

◇材料(1人分)

- ・豚バラ肉：80g(たんぱく質源)
- ・秋なす：1～2本(9月の旬)
- ・大葉：3枚(香り成分で食欲増進)
- ・タレ：ポン酢：大さじ1
にんにく(すりおろし)少々

- 1.秋なすを5mm幅の斜め切りにする。
- 2.耐熱皿に、秋なすと豚肉を交互に重ねて並べ、酒(小さじ1)をふる。
- 3.ふんわりラップをし、電子レンジ(600W)で4～5分、肉の色が変わるまで加熱する。
- 4.大葉をちぎってのせ、にんにくを混ぜたポン酢をかける。

回復期リハ病棟 | 実績DATA

※2025年10月～2026年3月

在宅復帰率

95.7%

※全国平均：78.4%

在院日数

89.6日

※全国平均：66.0日

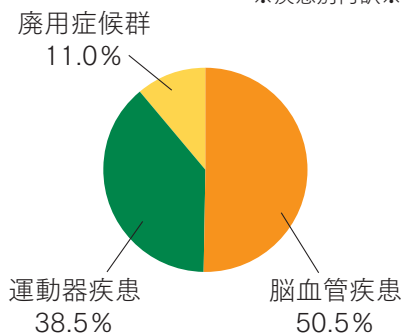
実績指数

41.6

※全国平均：46.6

退院患者割合

※疾患別内訳※



アウトカム実績

退院時FIM※①

95.9

※全国平均：89.4

入院時FIM※①

60.2

※全国平均：64.5

※① FIM(機能的自立度評価表):
日常生活動作の能力を評価したもの
点数が高いほど自立度が高くなる

※② FIM利得:
日常生活動作能力の改善値を示す
(退院時FIM－入院時FIM＝FIM利得)

FIM利得※②

35.7

※全国平均：24.8

アクセス



◆ 鹿児島中央駅から車10分

◆ 荒田八幡（市電・バス）から徒歩3分

お車で来院される際は、病院東側にある
駐車場をご利用ください。
ただ、駐車場台数に限りがありますので、
ご来院の際は、できるだけ公共交通機関
（市電・バス）をご利用ください。
ご協力をお願いいたします。



〒890-0056 鹿児島市下荒田2丁目1番25号
TEL:099-252-2525 FAX:099-252-2530

[表紙について] 表紙の画像は、生成AIを活用して作成したイメージです。秋めいていく鹿児島の様子を表現しました。なお、校島や田園等、実際の位置関係とは異なりますので、何とぞ、ご了承ください。